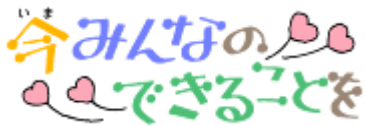


みやぎ地域づくり交流会

2014年6月1日

発行
みやぎ地域づくり交流会



きずな通信 N013

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

平成26年度事業スタート

新年度が始まり、地域づくり事業も新体制で3部会がスタートをしました。そこで、各部会の役員と今年度事業を紹介したいと思います

会長 北爪 一郎
副会長 前原 良男

(自治会連合会会長)

深澤 勇一

(自治会連合会副会長)

ふれあい交流部会

部会長 大崎 博之

副部会長 杉山 直一

行事

一、第7回みやぎいいもん祭り開催

二、宮城地区軽スポーツフェスティバル開催

自然環境交流部会

部会長 井上 恵明

副部会長 宮田 光子

根本 武

行事

一、荒砥川自然満喫会開催

二、年三回荒砥川美化運動

福祉交流部会

部会長 杉下 健樹

(地区社協会長)

副部会長 宮田紘子

行事

一、各町福祉交流サロン開催

(活動支援・用具購入・貸出)

出

二、エコキャップ運動

三、ふれあい町づくり研修会開催(社協支所共催)

全体行事

一、地域づくりフェスタ参加

二、のびゆく子供の集い参加

三、宮城地区納涼祭参加

四、地域づくり交流会地区内報告会開催

告発委員会

委員長 上野 実

委員 大崎 博之

渋沢 康之

榊沢 安之

東宮 秀樹

阿久澤孝子

一、年四回広報誌発行

二、各町キャラクター普及活動

三、ビデオ「みやぎの四季」活用

広報誌に関するご意見お問い合わせ
E-mail : michellpork@yahoo.co.jp

平成26年6月15日(日)
午前9時 集合(小雨決行)
宮城総合運動場たけのこタワー東駐車場
参加費無料・子供さん連れ大歓迎!

約5kmのウォーキング
山野草の天ぷら試食会
フワパーク内七歌歌!!

【お問い合わせと申し込み受付】
宮城公民館 Tel: (027) 283-6886

荒砥川
美化運動会
★平成26年6月8日(日)
たけのこタワー東駐車場 AM9時集合
★遊歩道の草刈り、ゴミ拾いを
行いませう。
必要と思われる道具、用具等
各自各自準備して下さい。

荒砥川自然満喫会開催です。
緑と風の気持ちいい季節、自然を体感する
ウォーキングと荒砥川周辺で採れる山野草の
天ぷら試食会を行います。

6月15日(日) AM9:00
たけのこタワー東駐車場集合です★★
〇〇〇小雨決行〇〇〇



©みやぎ地域づくり交流会

地域づくり交流フェスタ 2014 のお知らせ

◇日時：6月22日（日）9：30～16：00

◇場所：前橋市総合福祉会館

内容：

- ◆地域づくり“進歩”ジウム
- ◆地域づくり分科会（オープンガーデンによる地域活性化 他）
- ◆手をつなごう！地域×NPO×企業 パートナーシップのチャンス
- ◆みやぎ地域づくり交流会 活動パネル展 他

来る6月22日（日）に地域づくり交流フェスタが開催されます。今回は、午前中に「地域づくりとは・・・」をテーマに原点に立ち返った討論会を実施致します。午後は、災害、福祉、地域の歴史文化、世代間交流、地域の歴史組織運営、自然環境等の6つのテーマで分科会を実施いたします。また、みやぎ地域づくり交流会では各地区と一緒に活動パネルの展示をします。今回のフェスタは地域づくりの原点に立ち返り、その意味ややりがい、未来に何が残せるか？今だからわかる疑問の洗い出しをします。日頃地域の活動に興味がある方は是非ご来場ください。



【宮城地区のびゆく子どもの集いに参加】5月25日に行われたのびゆく子どもの集いに、エコキャップ回収と各部会の活動パネルを展示しました。今回は、天候に恵まれ、沢山の子供や家族連れで賑わいました。

25年度

地区内報告会開催する

地域づくり交流会の一年の事業報告会を3月22日宮城公民館にて行いました。

三部会の部長さんが、スライドやビデオを用いて一年の行事を説明した後、事例発表として南橋地区地域づくり推進協議会自然環境部会長 宮本吉郎様が「赤城白川まつり」の取り組みを説明してくれました。多くの市民がごみ拾いを行いながらのウォーキングや自然観察会を行い、参加賞として焼きそばや飲み物が用意されており、700食が終わってしまうほどの参加人数には驚かされました。



【櫻井福祉交流会部会長の発表風景】

【宮城地区石の伝説 ⑧】

鼻毛石町のすずり石と兜石

鼻毛石町八幡神社の拝殿前に、深さ15センチほどの小判型の穴のある安山岩の巨石がある。

この石が源義家伝説の「すずり石」である。義家は頼義の長子で、京都の岩清水八幡宮で元服したので八幡太郎と呼ばれた。

後三年の役で藤原家衡を滅ぼしたことで知られるが、陸奥へ赴く途中、通りかかったこの地で、多数の村人が兵士として志願したので、この穴の水で墨をすり、名簿を作ったと云われている。

義家は立派な武将だけでなく、和歌もたしなむ文化人でもあった。朝廷が私闘として認めなかつた後三年の役の武将の功績に

対し、私財を処分し褒美を与えたという逸話や、衣川の戦いの阿部貞任との逸話からもその人柄が偲べる。なお、河原浜町との境界近くの畑中に、義家が脱いだ兜を置いたという伝説の兜石もあり、今でも所有者の住谷さんが大切にされている

（部会員 五百部 記）